

日 本 電 線 工 業 会 規 格

J C S

市内対ポリエチレン絶縁
ポリエチレンシースケーブル

JCS 5287 : 2022

無断複写禁止

Unauthorized Duplication/Copying is Strictly Prohibited

(一社) 日本電線工業会

2022年4月 改正

一般社団法人 日本電線工業会

まえがき

この規格は、日本電線工業会規格管理規程に基づいて制定した団体規格である。

この規格の適用は、知的財産権に関わるか否かの確認を含めて、製品の生産者又は規格の利用者の責任において行われなければならない。

この規格は、日本電線工業会 通信ケーブル専門委員会の審議によって改正したものであり 2022 年 4 月 27 日から発効し、発効の日から少なくとも 5 年を経過するまでに日本電線工業会の専門委員会の審議に付され、速やかにこれを確認し、継続、改正又は廃止の処置がなされる。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 種類及び記号	1
4 特性	2
5 材料, 構造及び加工方法	2
6 試験方法	4
6.1 外観	4
6.2 構造	4
6.3 導通	4
6.4 導体抵抗	4
6.5 絶縁抵抗	4
6.6 静電容量	4
6.7 耐電圧	4
6.8 絶縁体, シース及び防食の引張り	4
6.9 加熱	4
6.10 耐寒	5
7 検査	5
8 包装	5
9 製品の呼び方	5
10 表示	5
10.1 ケーブルの表示	5
10.2 包装の表示	6
付表	7
解説	9

市内対ポリエチレン絶縁 ポリエチレンシースケーブル

Pair type polyethylene insulated polyethylene sheathed local cables

1 適用範囲

この規格は、導体をポリエチレンで絶縁し、シースとしてポリエチレンを使用した通信用の市内対ポリエチレン絶縁ポリエチレンシースケーブル（以下、ケーブルという。）について規定する。ただし、ケーブルの使用温度範囲は、 -30°C から $+60^{\circ}\text{C}$ までとする。

なお、このケーブルは、鉛、カドミウム、水銀、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル、ポリ臭化ジフェニルエーテルを意図的に含まず、かつ、このケーブルを構成する材料の中で、プラスチック材料はハロゲンフリーであることを特徴としている。

注 この規格におけるハロゲンフリーとは、塩素及び臭素を含まないことをいう。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS C 3005 ゴム・プラスチック絶縁電線試験方法

JIS C 3102 電気用軟銅線

JIS G 3141 冷間圧延鋼板及び鋼帯

3 種類及び記号

ケーブルの種類及び記号は、**表 1** のとおりとする。

表 1—種類及び記号

種類	記号 ^{a)}
市内対ポリエチレン絶縁ポリエチレンシースケーブル	ECO-CPEE
市内対ポリエチレン絶縁ポリエチレンシース鋼帯がい装ポリエチレン防食ケーブル	ECO-CPEETAZE
注 ^{a)} 記号の意味は、次による。 ECO : 環境配慮形（エコロジー） C : 市内用 P : 対より EE : ポリエチレン絶縁ポリエチレンシース TA : 鋼帯がい装 ZE : ポリエチレン防食	